

主な研究活動

運営委員会

2019年度

- 第4回 2019年7月23日 (1) 海外提携研究機関への派遣研究員について(派遣日程変更)、(2) 日本常民文化研究所メルマガの実施について、(3) 2019年度第2回公開研究会(「戦時下日本の大衆メディア研究」班)について、(4) 奨励研究費による物品購入について
- 第5回 2019年9月25日 (1) 第五期共同研究計画申請書について、(2) 「2019年度共同研究費」の追加予算申請および返上申請について、(3) 海外提携研究機関からの招聘研究員について、(4) 非文字資料研究叢書Vol.3(「東アジアにおける租界研究—その成立と展開」(仮))について
- 第6回 2019年10月23日 (1) 2019年度予算執行状況について、(2) 2020年度予算(案)について、(3) 「2019年度共同研究費」予算の追加および返上申請について、(4) センター長選出に関する確認事項について、(5) 海外提携研究機関からの招聘研究員について、(6) 海外提携研究機関への派遣研究員について、(7) 招聘・派遣研究員への執筆依頼書の書式の一部変更について
- 第7回 2019年11月25日 (1) 「2019年度共同研究費」の追加予算および返上予算申請について、(2) 海外提携研究機関への派遣研究員について(新規応募)、(3) 海外提携研究機関への派遣研究員について(調査スケジュール変更)、(4) 海外提携研究機関からの招聘研究員について(日程変更)、(5) 「非文字資料研究叢書」運用方針(案)について

研究員会議

2019年度

- 第2回 2019年10月23日 (1) 2019年度予算執行状況について、(2) 2020年度予算(案)について、(3) 2019年度共同研究費予算の追加申請および返上申請について、(4) センター長選出に関する確認事項について、(5) 非文字資料研究センター第五期共同研究申請書について
- 第3回 2019年12月4日 非文字資料研究センター・センター長選出について

研究会

公開研究会

2019年度

- 第1回公開研究会「租界と居留地」2019年12月7日

研究班研究会

2019年度

- 第3班 第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業
2019年7月31日、9月30日
- 第5班 東アジア開港場(租界・居留地)における日本人の諸活動と産業
第63回例会 2019年10月28日

現地調査

調査テーマ	日程	場所	調査メンバー
第二期『東アジア生活絵引(中国江南編)』編纂のための基礎作業	9月17日～9月18日	佛教大学	中林 広一
戦時下日本の大衆メディア研究	9月21日～9月22日	民話と紙芝居の家	安田常雄・大串潤児・原田広・新垣夢乃
東アジア開港場(租界・居留地)における日本人の諸活動と産業	10月25日～10月27日	岡山市日中友好協会、倉紡記念館	孫 安石・大里浩秋

その他

- 第6班 近代沖縄における祭祀再編と神社
「帝国日本」の残影 海外神社跡地写真展
2019年7月31日～8月4日 横浜市民ギャラリー1階展示室

編集後記

今号も盛りだくさんです。特に「戦時下日本の大衆メディア研究」班からは研究会や調査報告など5点が寄せられました。原田広氏連載は次号から「登場人物編」(予定)。班の活発さがうかがわれます。反響の大きかった「海外神社跡地写真展」の報告は「神社班」稲宮康人氏。そのほか個人調査として中国青島の建築、天津の跡地、フランスの大衆版画の生産として知られるエピナル。土地の記憶としての建物や場所や空間の持っている資料性を再認識させられます。研究エッセイは石井和帆氏と松山紘章氏。センターの活動に協力いただいた故近藤恒弘氏の追悼文を大里浩秋氏が寄せています。ニューズレターは情報と人のネットワークの場を目指しています。いろいろ活用ください。(A.S)

表紙説明

近藤恒弘氏が寄贈して下さった多くの中国の絵はがきのうちの、中国の民衆風俗が映し出されている数枚つづりの表紙絵2枚と、いささかあぜんとする写真1枚を選んだ。そのうちの写真には「支那貧民の子供売り」のキャプションがあるが、古い中国では、親が金に困って我が子を持つ場合があり、他人の子供を夕暮れ時などに連れ去って、幼児であれば写真にあるように天秤棒の両方に載せて売り歩き、一人が売れるとバランスをとるために一方に重しを載せる姿が公然とみられたとする。近藤氏にいただいた絵はがきは主に中華民国時代の中国北方で見られた光景のようであるが、時間や場所の限定は抜きで、これこそ相も変らぬ中国民衆の生活だと決めてかかって編集されているきらいがある。(H.O)